

5. 事業計画の変更に伴う予測・評価の見直し

5.1 予測・評価の見直しについて

環境影響評価書において予測・評価を行うとした項目は、騒音・振動、地盤、水循環、史跡文化財、廃棄物の5項目である。

事業変更の内容に基づき、環境に影響を及ぼすおそれのある新たな行為・要因、追加調査等を検討したが、騒音・振動、地盤、水循環、史跡文化財、廃棄物の全ての項目について予測・評価の見直しを行う項目はないと判断した。

その理由を表5.1-1に示す。

表 5.1-1(1) 見直しを行わない項目及びその理由

項目		見直しを行わない理由
騒音・振動	工事の 施行中	環境影響評価書では、建設機械の稼働に伴う建設作業騒音及び建設作業振動の影響を予測・評価した。 事業内容の変更に伴う建設機械の稼働による建設作業騒音・振動については、平成29年変更届に示した開削工法で使用する主な建設機械と同種類、同程度の規格であること、予測地点についても土留位置を敷地境界としており変更がないことから、環境影響評価書での予測・評価と同程度であると考えられるため、予測・評価についての見直しは行わない。 また平成29年変更届では、事業区間全体の工事用車両の最大発生台数は378台／日としている。本変更に伴い、工事用車両台数が分散されたこと、各工程の工事用車両の増加の最大時が重ならないことから、事業区間全体の工事用車両の最大発生台数も356台／日と減少する。また、主要運行ルート of 現況交通量に対する増加割合も最大で2.5％程度であり、工事用車両の走行に伴う道路交通騒音・振動による計画路線周辺への影響はほとんどないと考えられることから予測・評価は行わない。 列車の走行に伴う鉄道騒音及び振動については、新たな発生要因がないことから予測・評価についての見直しは行わない。
	工事の 完了後	環境影響評価書では、工事の完了後における列車の走行（鉄道騒音については地下を走行する場合を除く）に伴う鉄道騒音及び鉄道振動の影響を予測・評価した。 事業内容の変更に伴う列車の走行による鉄道騒音・振動については、新たな発生要因はないことから予測・評価についての見直しは行わない。

表 5. 1-1 (2) 見直しを行わない項目及びその理由

項目		見直しを行わない理由
地盤	工事の 施行中	環境影響評価書では、工事の実施に伴う地下水の水位変化による地盤沈下の程度を予測・評価した。 土留壁の条件（土留壁種別や根入れ深さ、設置範囲）、掘削幅や深さについては、環境影響評価書及び平成 25 年及び 29 年変更届から条件に変更はない。 したがって、事業内容の変更による工事の実施に伴う地盤への影響については、環境影響評価書で実施した地盤の予測結果と変わらないため、予測・評価についての見直しは行わない。
	工事の 完了後	環境影響評価書では、施設の存在に伴う地下水の水位変化による地盤沈下の程度を予測・評価した。 土留壁は残置されることになり、その条件（土留壁種別や根入れ深さ、設置範囲）、掘削幅や深さについては、環境影響評価書及び平成 25 年及び 29 年変更届から条件に変更はない。 したがって、事業内容の変更による影響は、環境影響評価書で実施した地盤の予測結果と変わらないため、予測・評価についての見直しは行わない。
水循環	工事の 施行中	環境影響評価書では、工事の実施に伴う地下水の水位への影響を予測・評価した。 土留壁の条件（土留壁種別や根入れ深さ、設置範囲）、掘削幅や深さについては、環境影響評価書及び平成 25 年及び 29 年変更届から条件に変更はない。 したがって、事業内容の変更による工事の実施に伴う地下水の水位への影響については、環境影響評価書で実施した水循環の予測結果と変わらないため、予測・評価についての見直しは行わない。
	工事の 完了後	環境影響評価書では、施設の存在に伴う地下水の水位への影響を予測・評価した。 土留壁は残置されることになり、その条件（土留壁種別や根入れ深さ、設置範囲）、掘削幅や深さについては、環境影響評価書及び平成 25 年及び 29 年変更届から条件に変更はない。 したがって、事業内容の変更による影響は、環境影響評価書で実施した水循環の予測結果と変わらないため、予測・評価についての見直しは行わない。
史跡・文化財	工事の 施行中	環境影響評価書と工事範囲に変更がないことから、予測・評価についての見直しは行わない。
廃棄物	工事の 施行中	事業区間内に存在する駅部における地下工事について、施工工程を延長するものであり、構造形式に伴う発生量等の増減や施工方法、施工順序等については、平成 29 年変更届から変更はない。 したがって、事業内容の変更による影響は、平成 29 年変更届で実施した廃棄物の予測結果と変わらないため、予測・評価についての見直しは行わない。

5.2 予測・評価の見直し結果

本変更では、予測・評価の見直しは行わない。

6. 事後調査計画の見直し

事後調査計画書に示した事後調査の実施項目及び調査事項に変更はないものの、表 6.1-1 及び表 6.1-2 に示すとおり、事後調査の実施時期や事後調査報告書の提出時期に変更があった。

表 6.1-1(1) 事後調査報告書の提出時期（変更後）

年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度			
				2013年				2014年				2015年				2016年				2017年				2018年				2019年				2020年				2021年			
四半期				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
工事工程の概略	中井付近～新井薬師前駅付近 新井薬師前駅部 新井薬師前駅付近～沼袋駅付近 沼袋駅部 沼袋駅付近～野方駅付近	地下区間	掘割																																				
			円形トンネル部(シールド工法)																																				
			箱型トンネル部(開削工法)																																				
			円形トンネル部(シールド工法)																																				
			箱型トンネル部(開削工法)																																				
			円形トンネル部(シールド工法)																																				
			掘割																																				
			軌道・電気工事等																																				
	備考																																						
事後調査項目	騒音	工事の施行中	建設作業騒音																																				
			仮線時の鉄道騒音																																				
			環境保全のための措置の実施状況																																				
		工事の完了後	鉄道騒音																																				
			環境保全のための措置の実施状況																																				
	振動	工事の施行中	建設作業振動																																				
			仮線時の鉄道振動																																				
			環境保全のための措置の実施状況																																				
		工事の完了後	鉄道振動																																				
			環境保全のための措置の実施状況																																				
	地盤	工事の施行中	地盤変形の範囲及び程度																																				
			環境保全のための措置の実施状況																																				
		工事の完了後	地盤変形の範囲及び程度																																				
			環境保全のための措置の実施状況																																				
	水循環	工事の施行中	地下水の水位及び流れの変化の程度																																				
			環境保全のための措置の実施状況																																				
工事の完了後		地下水の水位及び流れの変化の程度																																					
		環境保全のための措置の実施状況																																					
史跡文化財	工事の施行中	埋蔵文化財包蔵地の改変の程度																																					
		環境保全のための措置の実施状況																																					
廃棄物	工事の施行中	建設廃棄物及び建設発生土、建設汚泥の状況																																					
		環境保全のための措置の実施状況																																					
事後調査報告書の提出予定時期																																							

【凡例】 ●:報告書提出(工事の施行中①②③) ■:報告書提出(工事の完了後) —●:調査時期 ○:騒音振動調査(実施済)